



校報

# わきいち

〒010-0342

男鹿市脇本脇本字上野1番地1

男鹿市立脇本第一小学校

TEL 0185-25-2215

FAX 0185-22-2009

<https://edu.city.oga.akita.jp/wakiichi-es/>

和合協力

気力体力

意志強固

知識探求

創立 明治8(1875)年

冬休みが明けて1月15日から学校が始まり、脇一小には元気な子どもたちの声が響いております。昨年は、水害や猛暑、クマの出没、、、と自然の驚異を感じる出来事が多く、今年こそは穏やかな年にと願う中、年明けの令和6年1月1日には、能登半島地震が発生しました。石川県では、未だに多くの方が避難所生活を送っている厳しい状況が続いております。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また、男鹿市の海岸にも津波による避難指示が出たため、本校は避難所となりました。災害が発生した時、命を守るためにどのように行動すべきか、日頃どのような訓練を行っていかなければならないかなど、学校で、そして家庭で、改めてしっかりと備えておかななくてはならないと感じております。

## 冬のわくわく集会「冬休みに頑張りたいこと～2年生～」



☆私が冬休みがんばりたいことは、かけ算です。なぜかというのと、九九マスターになりたいからです。いっぱい練習して、九九をぜんぶおぼえたいです。(〇〇〇〇さん)

☆私が冬休みにがんばりたいことは、おうちのお手伝いです。なぜかというのと、お手伝いが大好きだからです。大みそかは、なまはげにごしゃがれないように、じゅうじつした冬休みをすごしたいです。(〇〇〇〇さん)

☆ぼくが冬休みがんばりたいことは、時間をきめてすごすことです。今まで、時間をまもることがとくいではなかったので、冬休みの間にがんばって、しゅうかんにしたいです。お手伝いもべんきょうもちよ金もがんばって、グレートな冬休みにしたいです。(〇〇〇〇さん)

## CS企画 おいしかったよ!もちつき集会!!

1月19日、コミュニティースクール企画による「もちつき集会」を実施しました。脇本地区婦人会、お寺食堂ボランティア、そして保護者の皆様にご協力いただきました。ついた餅は、きな粉とごまをまぶして、みんなでおいしくいただきました。

### <活動のねらい>

- 〇長く活動が制限される冬、子どもと大人が楽しさを味わえる場づくりをする。
- 〇地域の方々と一緒に楽しめる活動を通して、地域や脇一小への愛着と誇りを育む。



六年生は、前日から婦人会の皆さんに教わりながら餅米を研ぐなど、準備を頑張りました。



でっは、自験に、なかよし  
した、格分まし全  
た。う別でました員餅  
で、おいたつきを  
大満しおを  
足か餅 餅を  
ご

餅をまぶすお手伝いは、五年生が頑張りました。



## 受賞おめでとう

☆男鹿・潟上・南秋書き初め展

- <金賞> 3年 ○○○○さん
- <銀賞> 3年 ○○○○さん
- 4年 ○○○○さん
- 4年 ○○○○さん
- <銅賞> 3年 ○○○○さん
- 3年 ○○○○さん
- 4年 ○○○○さん
- 4年 ○○○○さん
- 5年 ○○○○さん
- <入賞> 4年 ○○○○さん

☆秋田県幼・小低学年個人剣道錬成大会  
2年生の部 <第3位>  
2年 ○○○○さん



## 2月のおもな行事

2日	金	入学説明会
5日	月	A L T訪問
7日	水	委員会活動（最終 3年生参加） 学校運営協議会
9日	金	職員研修会 全校5校時限
11日	日	建国記念の日
12日	月	振替休日
14日	水	チャレンジタイム4・5・6年
16日	金	P T A授業参観日 全校5校時限
19日	月	A L T訪問
20日	火	全校5校時限
21日	水	チャレンジタイム4・5・6年
22日	木	なかよし清掃
23日	金	天皇誕生日
26日	月	A L T訪問 全校5校時限
27日	火	3年そろばん教室
28日	水	全校5校時限

## 1月25日(木)避難訓練を実施しました

今回の避難訓練では、1階家庭科室から火災が発生したという想定で行いました。煙が立ちこめている中での避難の仕方を身に付け、積雪・降雪時の災害について学びました。



【防寒着や帽子、手袋を身に付けて】



【煙を吸わないよう、ハンカチ等で口を押さえて、低姿勢で】



【外靴に履き替え】



【学級で振り返り】

### ～子どもたちに伝えたこと～

災害には、水害や地震、津波や土砂崩れなど、様々あります。どんな災害が起きたかによって、命を守る方法や避難の仕方は異なります。災害時には、今日のように訓練したことを思い出し、正しい判断ができるように、落ち着いて行動することが求められます。

日本では、近年10年に一度の割合で大きな地震が起きており、日本海中部地震や東日本大震災など、秋田も例外ではありません。そのため、常に地震などの災害に備えておく必要があります。「防災グッズ」を用意しておくことも、備えの一つです。寒い中、体育館のような場所での避難生活を想像してみてください。どんなグッズがあればいいか、考えてみましょう。

ぜひ、ご家庭でも話題にしてみてください。